

おかげさまで。 おたがいさまで。

医療法人社団造山会 まきび病院
NPO法人岡山マインド「こころ」編

二〇一八年七月、西日本で大雨が続き、倉敷市真備町は濁流に飲みこまれた。

この「観光課」で、たのしい時間を過ごした場所、

NPO法人岡山マインド「こころ」の施設も水没した。

代表の多田伸志さんは、泳いで救助にまわった。

水が迫るなか、屋根に取り残された利用者は、

「自分たちより、まわりの困っている人たちを

優先してくれ」と言ったそうだ。

その後、高台にあったため

直接の被害を逃れていたまきび病院へ避難した。

ほどなくして、まきび病院には

「トイレ、水あります」と看板が立った。

施設は、水がひいて泥まみれだったが、

臨時のボランティアセンターとして開放した。

多田さんは言った。

「いのちさえあれば、なんでもできる」と。

地域とともに動き出した。

